

研究課題

・「話すこと(やり取り)」の能力を向上させるための指導方法

現状の課題

- ・授業において即興で英語を発する機会が不十分のため、与えられた話題について論理的に自分の意見を伝えることができていない
- ・国際交流のイベントや催しに応募する生徒がそれほど多くなく、ALTと会話をする機会も不十分であるため、初対面の英語母語話者と英語を用いて即興で会話することに慣れていない。

課題に対する具体の取組の内容

- ・本校2学年英語科においては、主に論理・表現Ⅱの授業で「話すこと(やり取り)」の力を測定するパフォーマンステストを実施しており、3期と4期のパフォーマンステストに本事業を通じて生徒が取り組んだ即興の会話形式の発話を組み込むことで、オンライン英会話と普段の授業とが有機的につながるテストを意識して実施した(別添資料①参照)。
- ・論理・表現Ⅱだけでなく、英語コミュニケーションの導入部に即興で自分の意見に関してのやり取りをする機会を増やした(別添資料②)。

成果①

・別添資料③のアンケートの結果及びその考察

本事業実施後、設問1において否定的回答が有意に低下していることが見受けられる。事業開始時はほとんどの生徒が緊張し、不安でいっぱい表情だったが、回が進むにつれ、自ら進んで教材に目を通したり、「もっと話したかった」「今日の先生と仲良く慣れてよかった」等の前向きな感想を生徒同士と共有していることが大幅に増加した。こうした様子から、本事業を通じ、英語を話すことに対する barrier を一定程度取り除くことに成功したと考えられる。

成果②

・教員から見た生徒の変容

本事業におけるトレーニングを通じ、最初は初対面の英語母語話者と話すことになかなりの緊張やストレスを抱えていたようだったが、3回目頃から否定的な態度の生徒はほぼ皆無で、パフォーマンステストに対しても堂々とスピーキングに取り組む生徒が増えたように感じられた。前述のアンケート結果を分析しても、最後の設問以外において、わずかではあるが英語学習に対して肯定的回答が増加、あるいは否定的回答が減少しており、以前よりも英語学習に対して前向きな姿勢になったと考えられる。

今後の課題・方向性

- ・取り組みを通じ、トピックに関する自分の意見とそれについての論拠を言える、または積極的に話そうとする生徒はかなり増えたが、それについての論拠が内容的に不十分なものが多く、様々な言語材料に触れさせながら、英語を話すトレーニングと同時に、幅広い教養を身につけるための活動を計画的に授業で行えるようにし、学習内容の定着を図っていきたい。
- ・意識調査において、「書くこと」の能力を伸ばしたい(設問4)生徒が多く、おそらく模試や定期考査や小テストを重視して英語学習に励んでいきたいと考える生徒が多いことがうかがえる。4技能5領域をバランス良く伸ばさせることが最終的な英語力の伸長につながることを再認識できような授業を展開し、英語の能力だけでなく学ぶことの楽しさを伝えられるような指導法をもっと考えていきたい。

<別添資料>

別添資料①

論表Ⅱ 第4期 パフォーマンステストの評価

英会話トレーニング4回目に基づき、教師の発話(“Please tell me about the positive or negative aspect of ○○.”)に適切に回答できているかを測るスピーキングテストをおこなう。評価規準は以下の通り(満点は15点)。
論理表現Ⅱの考査前の最後の2時間を使用して実施する。なお、教師の発話のあとに30秒間の考える時間を後、45秒以内に回答すること。

【評価規準】

	A	B	C
知識・技能	おおむね理解のできる主語・動詞のはっきりした英語をおおむね発せられている。【2点】	聞き手の理解の妨げにならないように、主語・動詞のはっきりした英語をおおむね発せられている。【1点】	文法・語彙が破綻しており、聞き手がほとんど理解できない英語しか発せられていない。【0点】
思考・判断・表現	発話に対して、いずれかの面について具体的に(=支持文を添えて)答えられている。【3点】	発話に対して、いずれかの面について具体的ではない(=支持文がない)が答えられている。【2点】	発話に対応した回答になっていない。【1点】
主体的に学習に取り組む態度	相手に意見を伝えようとする態度が見られ、流暢に英語を話している。【10点】	相手に意見を伝えようとする態度が見られる。【8点】	相手に意見を伝えようとする態度が見られない。【6点】

【模範的な回答の例①】(Tは教師, Sは生徒) ※ _____ が支持文

T: Please tell me about the positive or negative aspect of manga.

S: I think the positive aspect of manga is that we can improve our imagination. For example, we often imagine the characters' voices according to their lives or their behavior.

【模範的な回答の例②】(Tは教師, Sは生徒)

T: Please tell me about the positive or negative aspect of smartphones.

S: The negative aspect of smartphones is that we can spend too much time to use it. For instance, I use it almost every night without finishing my homework.

別添資料②

English Communication I WS No.26

Lesson 6 : An Irish Poet on a Mission : Part3

I. Share your ideas (⇒G②)

Topic	Your opinion
If you teach one Japanese word to a foreign tourist, which one would it be?	

English Communication II WS No.29

Lesson 7 : Be Free from Gender Bias : Part 1: _____

I. Share your ideas (⇒G②)

Topic	Your opinion	言いたかったこと	英語
Where is gender bias in our society?			

English Communication II WS No.30

Lesson 7 : Be Free from Gender Bias : Part 2: _____

I. Share your ideas (⇒G②)

Topic	Your opinion	言いたかったこと	英語
Which do you think is more common in Japan, male or female leaders?			

別添資料③

R5 世界に発信する高校生育成事業 意識調査

※TOEIC(R)Programを実施・運営する国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）が現在英語学習をしている全国の20代～50代のビジネスパーソン男女500名を対象に実施した「英語のスピーキングに関する実態と意識」を元に、本校で本事業の前後に意識調査を実施した（別添資料③）【参考URL：<https://englishhub.jp/news/iibc-speaking-2020.html>】

1. 質問項目と選択肢

設問1 英語で話すことは好きですか。

- ①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえば嫌い ④嫌い

設問2 英語で話すことが得意ですか。

- ①得意 ②どちらかといえば得意 ③どちらかといえば苦手 ④苦手

設問3 英語の4技能（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング）において最も難しいと感じる技能はどれですか。

- ①スピーキング ②リスニング ③ライティング ④リーディング

設問4 英語の4技能（リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング）において最も伸ばしたいと感じる技能はどれですか。

- ①スピーキング ②リスニング ③ライティング ④リーディング

設問5 自身の英語の発音に自信がありますか。

- ①ある ②どちらかと言えばある ③どちらかと言えばない ④ない

設問6 ネイティブのような発音で話せるようになりたいですか。

- ①なりたい ②どちらかと言えばなりたい ③どちらかと言えばなりたいとは思わない ④なりたいとは思わない

2. 分析結果

※概観において設問1・2・5・6の①と②は「肯定的回答」、③と④は「否定的回答」としてまとめた

	事前調査（母数176, 数値は各選択肢の選択率）				事後調査（母数170, 数値は各選択肢の選択率）				概観（差＝事前から事後の増減）	
設問1	① 10.19	② 34.47	③ 33.5	④ 15	① 11.17	② 35.92	③ 26.7	④ 8.74	肯定的回答の差+2.43, 否定的回答-13.06	
設問2	① 0.97	② 6.31	③ 39.32	④ 38.83	① 0.49	② 5.83	③ 41.26	④ 34.95	肯定的回答の差+0.48, 否定的回答-1.94	
設問3	① 31.07	② 27.67	③ 18.93	④ 7.77	① 27.67	② 29.13	③ 17.96	④ 7.77	スピーキングに対する苦手意識が-3.4,	
設問4	① 41.26	② 21.36	③ 9.71	④ 13.11	① 35.44	② 20.39	③ 15.53	④ 11.17	スピーキング, リスニング, リーディングは減少, ライティングは増加	
設問5	① 0.49	② 13.11	③ 39.32	④ 32.52	① 1.94	② 12.62	③ 38.35	④ 29.61	肯定的回答の差+0.96, 否定的回答-3.88	
設問6	① 43.69	② 32.04	③ 5.34	④ 4.37	① 37.38	② 36.89	③ 6.8	④ 1.46	肯定的回答の差-1.46, 否定的回答-1.45	